

2020年4月

内閣総理大臣

安倍晋三 様

厚生労働大臣

加藤勝信 様

内閣府特命担当大臣（少子化対策）

衛藤晟一 様

新型コロナウイルス感染症対策本部

ご担当者 様

[発起団体]

一般社団法人 企業主導型保育連盟

代表理事 前嶋 修

ならび 理事一同

一般社団法人 日本こども育成協議会

代表理事 廣島 清次

【新型コロナウイルス感染拡大による保育施設への対応に関する要望】

新型コロナウイルス感染拡大により、世界規模の非常事態となっている現状での政府機関ならび

関係各省庁の皆様のご尽力に関しましてまずは厚くお礼申し上げます。

保育施設運営においても様々な問題点が発生しておりますので報告させていただき、

今後の行政対応に関しましてはあわせて要望させていただきます。

【感染拡大の状況下で保育施設運営により発生する問題点】

①保育施設内での生活は常に濃厚接触が存在し、予防対策が不十分で感染のリスクは高い。

⇒園児は3密行動を避ける動きなどは出来ず、保育者も通勤などで感染リスクを負い（時差通勤なども出来ないため）、保育現場での予防策も努力が及ばず完全たる徹底はできない。

また、幼児の重篤化などが報告されている中で（乳幼児は衛生概念が未熟であり、ウイルスに対する免疫構造も大人とは違うため）、安全を第一に考えるべき保育を維持・継続する現在の体制は最善であると言えるのか？

②保育者に小さなお子さまがいる場合、休校が続いているため勤務が困難になる。

⇒結果、保育者の配置基準は崩れ保育の質と安全は確保できない。また、現状は配置基準が崩れた場合の処置や対策も曖昧になっている。

③マスク・消毒液・給食食材などの調達に、日増しに困難になる。

⇒多発する買い占め行動などが影響し、買い出しなども不確定さを増している。

④保護者の中にも『登園させるべきか否か』という不安が発生している。

⇒勤務する保育者にも同様に不安が発生し、長引く自粛対策も影響して疲弊に繋がっている。

⑤運営を続けることへの周辺住民からのクレーム、登園自粛や休園をした場合の利用者からのクレームが発生する。

⇒結果、適切な運営判断が出来ず、安全が守られない保育が進行する危険性がある。

【具体的な要望】

小中高校の休校が延期される中、より感染のリスクが高いと予想される保育施設が、厚生労働省から保護者への登園自粛協力のみの対策に留まり、開園継続とされている根拠が分からず保育現場は苦悩しています。

このまま小中高校のような行政からの要請がない状況では、休園も登園自粛も事業者判断では明確に打ち出せず混迷が進みます。なぜなら事業者判断の範疇のままであれば、休園・開園のいずれの処置への不満や発生した問題の矢面に事業者が立たされるためです。

また、『保育施設はやっているから預けよう』という認識が保護者に広がり、安全のため仕事を控える等の適切な処置への優先順位が下がっている状況も危惧されます。

全国の保育現場では『なぜ保育はほったらかしなの？』という思いが多く生まれています。

安全を最優先し、今回の新型コロナウイルス対策に政府機関および関係省庁が懸命に取り組んでいただいていることは十分承知しておりますが、保育施設が置き去りにされている事実は現状で拭うことは出来ません。

重ねてお伝えいたしますが、十分な衛生管理を最大限努力しても上記の問題点を鑑みた結果、保育の現場は安全であるとは断定できないと考えます。

今回の新型コロナウイルス問題が終息を迎えても、保育施設が置き去りにされ安全が度外視されたままの状況と、現場の疲弊や置き去りにされた不信感、度外視された処遇を保育に従事している方、これから保育に従事しようとする方がどう感じるでしょうか？保育という仕事に喜びや達成感を見出すことは皆無ではないでしょうか？

また、安全であることを大前提としない保育に利用者である保護者が本当の意味での信頼を寄せることがあるのでしょうか？

保育施設を運営している事業者として、休園を望んでいるわけではありません。

行政から具体的な対策の指針と要請の後押しをしていただきたいだけです。

具体的な要請の内容には、休園に至った場合の補償の問題や開園継続の際に発生するであろう新型コロナウイルス発症時の対応なども盛り込んでいただければ幸いです。

保育施設が感染拡大の温床とならぬよう、安全を最優先とした対策を強く要望いたします。

以上何卒ご配慮の上、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

[発起人代表]

企業主導型保育連盟

平山 武彦